

シリーズラーニングリソースの展開(2) UT OCW 2 MIMA SEARCH

東京大学 重田 勝介



UT Open Course Ware(以下UT OCW 東大オープンコースウェア)は、東京大学教員による正規授業科目のカレンダー、シラバス、講義ノートや教材などの教育リソースを、無償で公開するウェブサイトです。UT OCWは2005年度よりスタートし、2008年1月現在、計46科目(内35科目は英訳付)、そのうち17科目において計102の講義映像が公開されています。

UT OCWではこれらの講義を、Open Course Wareにより公開しています。Open Course Wareとは高等教育機関による、授業コースで整理された教育リソースの無償公開を指し、MIT(MITマサチューセッツ工科大学)をはじめとする全世界で100以上の高等教育

機関により行われており、日本からは東京大学や京都大学、慶應義塾大学や早稲田大学など20以上の高等教育機関が参加しています。

UT OCWの他のOpen Course Wareと比較した特徴は、著名な講師による講義が数多く公開されている点です。ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊氏、発生物理学の権威である浅島誠氏など、世界的に活躍する研究者による講義に留まらず、国際協力機構理事長の緒方貞子氏や音楽家の坂本龍一氏など、講師としてゲストに招かれた多くの著名人による講義が公開されています。東京大学では「学術俯瞰講義」と呼ばれる、各専門分野の垣根を越え、「知」の大きな体系や構造を見ることにより、自らが現在学



図1

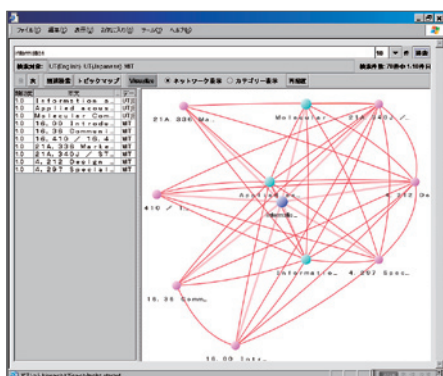


図2

んでいる授業科目の意義や位置付けを認識し、将来への展望を見出すことによって学びへの動機を高めることを目的とした講義が、前期課程を対象に開講されています。UT OCWでは本講義を代表的なコンテンツの一つと位置づけています。これらに加えてUT OCWでは、退官される教授の最終講義も公開しており、人氣を博しています。

またUT OCWでは他のOpen Course Wareの中でも、数多くの講義映像を公開しています。収録された映像は、UT OCWからReal Mediaによるストーリーミングで配信されています。加えてモバイル学習も念頭に置き、iTunes Storeに開設されたTODAI Podcasts Roomより、iPodなどモバイル機器でも視聴可能な映像をポッドキャストリングにより提供するなど、多様な学習形態への対応を試みています(図1)。

もう一つUT OCWの特徴として、シラバスを横断的に検索し、俯瞰的に可視化できる「知の構造化ツール:MIMA Search」を実装していることが挙げられます(図2)。MIMA SearchのMIMAは、Meta-Information Mining Accelerationの略で、従来の指定されたキーワードに関連するシラバスをリスト表示する検索システムに比べ、シラバス内容の意味的関連性に基づいて検索結果を整理し、視覚化を行うことで、必要な情報の探索をより早く行うことができます。MIMA Searchでは検索されたシラバスの構造を「点」と「線」によるグラフ構造により表現され、シラバス間の意味的な関連性

が強ければ強いほど、グラフ上では近くに配置されます。これにより、内容的に近い講義の集合を見つけたり、基礎的な数学とその応用というような履修の順序の把握が容易になっています。さらにはMIT OpenCourseWareなど、OCW形式で公開された他大学とのシラバス間の関連等を、視覚化されたインタフェースにより直感的に俯瞰することもできます。

UT OCWは日本のOpen Course Wareの中でも有数のアクセス数を誇り、学内外より月数万単位の利用者を受け入れています。UT OCWでは公開当初より毎年10講義以上を目指し、継続的にコンテンツを増やしています。

UT OCWは、東京大学が推し進める「知の構造化」を教育の面から支援する事業の一環として位置付けられており、東京大学教育企画室に設置された教育の情報化プロジェクトチームを母体とするUT OCW事務局で運営されています。この事務局では各部局・教員より提供された教育リソースの著作権処理や、講義の収録・ウェブ公開に適した編集等を含めた、UT OCWの開発・運用に関わるあらゆる活動を行っています。

図1: TODAI Podcasts Roomで公開される小柴昌俊氏の講義映像

図2: MIMA Searchの画面
(大学総合教育研究センター「REE」オフィスコンテンツ開発室 特任助教)

本誌アドバイザーによる、ラーニングリソースの全体像をシリーズでお送りします。(編集室)